

主要行等の令和5年9月期決算の概要

1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 令和5年9月期は、前年同期における投資信託解約益の剥落等を主因として資金利益が減益となるも、外債を中心とした債券等関係損の縮小によるその他業務利益の増加や融資手数料等の役務取引等利益の増加等により、当期純利益は前年同期比54.4%の増益（20,342億円）。

（単位：億円）

	R3年9月期	R4年9月期	R5年9月期	前年同期比
業務粗利益	53,822	59,376	65,030	5,653
資金利益	26,168	34,647	28,449	▲6,199
役務取引等利益	18,221	18,982	21,350	2,368
その他業務利益	2,928	3,856	9,367	5,511
うち債券等関係損益*	1,264	▲6,426	▲501	5,924
経費	▲34,147	▲36,318	▲38,307	▲1,990
業務純益	20,127	23,715	27,360	3,645
コア業務純益*	10,816	21,745	18,169	▲3,575
コア業務純益*（除く投資信託解約損益）	10,169	16,318	17,002	683
与信関係費用**	▲763	▲4,001	▲3,359	642
株式等関係損益	2,283	2,447	1,505	▲942
親会社株主に帰属する当期純利益	18,577	13,174	20,342	7,168

*債券等関係損益、コア業務純益については銀行単体ベース。**与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）	R3年9月末	R4年9月末	R5年9月末
貸出金（末残）***	313.5兆円	353.3兆円	361.1兆円

***貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計。

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権残高は令和5年3月末に比べ横ばい、不良債権比率はやや低下。

	R4年9月末	R5年3月末	R5年9月末
不良債権残高	3.3兆円	3.2兆円	3.2兆円
不良債権比率	0.81%	0.81%	0.77%

3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率とTier1比率は、令和5年3月末に比べ、ほぼ横ばい。普通株式等Tier1比率は、やや低下。

- 国内基準行の自己資本比率は、令和5年3月末に比べやや上昇。

（国際統一基準行：4グループ）

（国内基準行：3グループ）

	R5年3月末	R5年9月末
総自己資本比率	14.92%	14.97%
Tier1比率	13.25%	13.32%
普通株式等Tier1比率	11.87%	11.71%

	R5年3月末	R5年9月末
自己資本比率	11.34%	11.47%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）グループ連結ベースは、みずほFG、三菱UFJFG、三井住友FG、三井住友トラストHD（以上、国際統一基準行）、りそなHD、SBI新生銀行、あおぞら銀行（以上、国内基準行）を対象とする。

（注3）銀行単体ベースは、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行を対象とする。

（注4）各グループ公表資料等より、金融庁作成（公表数値の定義はグループにより異なる場合がある）。